



福島市小鳥の森通信

# しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 125

## モズ

分類 スズメ目 モズ科

大きさ 約20cm スズメより5cmほど大きい

なき声 ギチギチギチ、キョンキョン  
キイキイキイ

小鳥の森でよく見られる時期

・ 9月頃～4月頃

小鳥の森で見られる場所

・ 広場や公園などの開けた場所



左：たきたなのはさん  
右：たきたこうせいさんが描いてくれました。

## 9月 いきもの森予報

### 秋の音

9月に入ると、真夏の暑さはまだ残るものの、季節は秋の訪れを感じるようになります。小鳥の森は、にぎやかなセミの声から秋の虫の音に移り変わっていきます。

秋の虫たちは夕方ごろからオスだけが鳴きます。ではどうやって鳴いているのでしょうか？

鳴き「声」とは言っても、口から出す音ではありません。左右の翅の裏にある「ギザギザの部分」と「こする部分」を合わせることでキレイな音を出しているのです。なわばり宣言やオス同士のケンカ、メスへの求愛にこの音が使われています。

エンマコオロギやタンボコオロギなどのコオロギの仲間、ハヤシノウマオイやセスジツユムシ、ササキリなどのキリギリスの仲間が鳴き揃って音が重なると、秋の夜長の合唱団のように思えてきます。家の周りや公園、草むらなどの身近な場所で、何種類が鳴いているのかを鑑賞してみてください。

### ササキリ

大きさ

・ 約15mm

見られる時期

・ 7月～12月

見られる場所

・ 林縁や竹林

食べ物

・ 主にイネ科の植物

鳴き声

♪ シュリ、シュリ、シュリ…



## 夏に咲く花

夏真っ盛りの小鳥の森は、木々も草もうっそうと茂ります。森の中には、春とは違った夏の花が競うように咲いていました。

7月には、花穂が虎の尾のように見えるオカトラノオや、手の平ほどの白い花から強い香りを放つヤマユリなどが見頃を迎えました。

8月には、5枚の小さな黄色い花弁が特徴のキツネノボタンや、紫色の釣鐘のように下を向いて咲くコバギボウシなど、様々な色や形の花が目を楽しませてくれました。

また、春に花を咲かせた植物たちの中には、青く小さな実をつけ始めているものもあります。早くも、秋に先駆けて色づいているものも。次の季節に向けて着々と実りの準備を進めているようですね。



← ヤマユリ

→ コバギボウシ

## スタッフだより



### アカハライモリは赤だけじゃない？

田んぼや池など流れのない水の近くで暮らしているアカハライモリ。「アカハラ」の名の通り、赤（オレンジ）色の模様がお腹にあります。これは「警戒色」。「毒を持っているぜ!」とアピールしています。実際に、フグと同じ毒をちょっとだけですが持っています。

さて、赤とは別の色をしたアカハライモリをご存知でしょうか？春先、繁殖期になるとオスの尾が「婚姻色」である青や紫に変わります。オスはメスのそばで、色づいた尾をダンスのように震わせ結婚を申し込みます。どんな婚姻色になるかは地域によって違います。小鳥の森のアカハラ君は何色？来年の春、素敵なオスを探してご報告できたらと思います。

（おまけ）

アカハライモリには「まぶた」があり、眠る時は閉じます。食べる時にもグッと目をつぶります。目をつぶることで眼球が口の中にめり込み、エサを喉の奥に押し込んでいるようです。目をパチクリしながら食べる様子はとても可愛らしいですよ。

（スタッフ くろさわさちこ）

## イベント報告

### 夏休み特別企画

夏休みの特別企画と題して8月6日に「昆虫観察会」、8月13日に「昆虫標本づくり」を行いました。

昆虫観察会では、レンジャーの作成した「セミの抜け殻早見表」を持って園内を散策し、見つけた抜け殻と照らし合わせて種類を調べたり、発見した昆虫などの観察を行いました。

昆虫標本づくりでは、クワガタムシやカブトムシの標本づくりを実施しました。子どもたちは苦戦しながらも夢中になって取り組んでいました。



昆虫観察会

昆虫標本づくり

\*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

\*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年9月号№436／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま

